

病理部プログラム

プログラム名： 各種臓器の病理診断

目 標：

- 1) 各種臓器の手術検体について、肉眼所見のとり方を修得する
- 2) 各種臓器の手術検体について、適切な切り出しができる
- 3) 各種臓器の手術検体について、最終診断に必要な十分な特殊染色を理解する
- 4) 各種臓器の手術検体について、病理診断書が作成できる

方 略：

- 1) 期間・研修開始時期：3か月（12日間）
- 2) 指 導 医：池田 純一郎（病理部長、教授）、太田 昌幸（助教）、橋本 麗（助教）
- 3) 募集人員：同一時期に2名まで
- 4) 研修内容：
 - ① 病理部において、各種臓器の手術検体の肉眼観察、切り出しに参加する
 - ② 指導医による各種臓器の組織分類に関する基本事項および最新の知見に関する講義をうける
 - ③ 指導医とともに各種臓器の手術検体の病理組織標本を検鏡する
 - ④ 指導医の指導のもとに、各種臓器の手術検体の病理診断書を作成する
 - ⑤ 研修する臓器については希望に基づいて決定する（原則1名あたり1臓器）
- 5) スケジュール
日時：火、水、木のいずれか週1日
場所：病理部切り出し室および検鏡室
第1回：オリエンテーション、施設見学、スタッフ紹介、手術検体の肉眼観察および切り出しの見学
第2回：手術検体の肉眼観察および切り出し、切り出し症例の病理組織標本の検鏡
第3回～第11回：手術検体の肉眼観察および切り出し、検鏡、診断書の作成
第12回：試験、修了認定

評 価：

- 1) MCQ（プレ・ポストテスト形式）
- 2) ポートフォリア（作成した病理診断書などの研修記録をもとに指導医による口頭試問）
- 3) 実地試験（病理診断書をもとに症例の提示をし、指導医が評価）

修了認定：

評価基準を満たしたものにコース修了証書を授与する